

ステロイド治療に恐怖を感じ、松本医院を受診。
長年患った様々な症状が改善された方の手記。

「長年患った喘息、蕁麻疹、肛門周囲膿瘍、筋肉痛 完治へ向けて（途中経過）」

倉田延邦 60歳

2016年1月13日

<松本医院にかかるまでの治療>

①喘息

52歳の時、運動後に胸が痛み、呼吸もしにくい状態になり、医師の診察で喘息と診断されました。脈拍が上がるような運動をすると必ずこの症状が出ました。普通に生活していれば全く問題はありませんでした。発作も起きたことはありません。基本的に病院と薬は嫌いなので、医師の処方薬は飲みませんでした。気管支拡張剤は8年間で数回使用しただけでした。

②慢性蕁麻疹

25歳の時に発症し、それ以来35年間、抗ヒスタミン剤を毎日1錠服用していました。

③肛門周囲膿瘍

58歳の時に切開手術を受けました。痔瘻にならぬようにする処置や服薬はしませんでした。便は極端に細くなりました。もともと下痢気味でした。

④原因不明の筋肉痛

59歳の時に、右腕、右方、右肩甲骨周辺に激痛を覚えました。痛い場所が毎日移動しました。松本医院にかかるまで特に治療はしませんでした。

<松本医院を選んだ理由>

☆愛犬の治療から学んだ「恐怖のステロイド治療」

2012年、愛犬（G. ピレニーズ 超大型犬）が、アレルギー症状で体中に発疹が出来ました。獣医の処方したステロイド薬を飲ませたら、元気だった愛犬が見る見る衰え、私も含めて周りの全ての人達が愛犬の死を覚悟していました。藁にもすがる気持ちで別の獣医に相談すると、ステロイド薬を含め薬は一切止めるように指導されました。幸いにも体調にあったフードを探すことができ、愛犬は元気に復活しました。

☆妻が「リウマチ性多発筋痛症」を発症

2013年、妻がリウマチ性多発筋痛症と診断されました。ステロイドを使わない病院をネットで検索し、松本医院を選びました。半年間で不治の病といわれたリウマチ性多発筋痛症があとかたもなく消え去りました。松本先生にとっては当たり前のことだったかもしれないが、私たちにとっては「奇跡」でした。

☆原因不明の筋肉痛

24時間続く原因不明の筋肉痛が起きました。しかし、妻の治療の様子を知っていたので、原因はヘルペスであると確信していました。鈍痛、激痛、早くこの痛みから解放されたいと思いました。

愛犬から教わったステロイドの恐怖と、妻の奇跡的な回復を目にしていたことにより、何のためらいもなく松本医院を選択しました。

<治療経過>

漢方薬、アシクロビル1日8錠、薬用風呂週1回による治療

①喘息

漢方薬を一日3回食前に服用しました。まずいが我慢して一気飲みしていました。速足で歩くと、胸の痛みのため途中で必ず休憩をとっていましたが、現在は痛くても歩き続けることができるようになりました。この痛みは気温が下がると酷くなります。今は冬で痛みが少々ひどいですが、歩き続けています。徐々に回復していると思います。

②慢性蕁麻疹

抗ヒスタミン剤をやめて、漢方薬のみを服用しました。しばらくは痒みを我慢していましたが、35年間苦しんだ症状がわずか1カ月で消えました。あらたな「奇跡」が起きました。

③肛門周囲膿瘍

松本先生からでクローン病だと言われる。指示に従い漢方薬を1日3回食後

に服用しました。これほどまずいものはこの世で出会ったことはありませんでした。一気に飲みしていました。便は太くなり、下痢も全くと言っていいほどしなくなりました。かなり回復したような感があります。

④原因不明の筋肉痛

わずか10日で完全に痛みが消えました。やはり原因はヘルペスでした。同年代で同じ痛みを抱えた知り合いがいますが、未だに苦しんでいます。松本先生のこと、ヘルペスのことを話しましたが、信じようとしませんでした。「信じない者は救われない。」

<今後>

松本先生の理論は正しいと確信しています。また、喘息とクローン病については、症状が徐々に快方に向かっていると思うし、気長に治療を続けたいと思います。

<雑感>

松本先生の理論が正しいということを示す例を下記に2例あげてみたい。

- (1) 私の場合35年間の抗ヒスタミン剤の長期服用が、52歳での喘息の発症や、58歳でのクローン病に結び付いたのは間違いないと考えています。長期の服薬で免疫を抑えてきたため、I g Eの世界をわざわざ厄介なI g Gの世界にさせたと確信しています。
- (2) 越中富山の薬売りで有名な富山県ですが、漢方薬の研究が富山医科薬科大学（現在富山大学医学部）で先進的に進められていたのは当然のことです。私は慢性蕁麻疹が発症した当初、当時の富山医科薬科大学の皮膚科の教授先生の診察を受けました。先生は漢方治療も研究されていて、番号は覚えていませんが、ツムラの漢方と抗ヒスタミン剤での治療でした。しかし、症状は全く改善されませんでした。この治療について松本先生にお話したところ、「アホやないのか。漢方で免疫力を上げて、抗ヒスタミン剤で下げて、一体何をしたいのか、その教授は。」と言われました。今なら私でもわかります。なるほど馬鹿げた治療でした。松本先生のおかげで35年の苦勞が1カ月で解消しました。

我が家の裏は水田ですが、最近は農薬を散布していません。農家は自家米には農薬は使わないらしいです。同じように、医者の間では、自分の子供にはステロイドを使わないというのが常識らしいです。益々医者が嫌いになりました、

松本先生を除いては。